卒業論文

男女共同参画社会「推進」の過程分析

2011 年度入学

社会学・地域福祉社会学専門分野

2015 年 1 月提出

要約

本論文では，広く大きな概念である男女共同参画社会のなかでも，その「推進」過程に注目した．本論文の目的は，文献調査とインタビュー調査を交えながら，男女共同参画社会の「推進」過程について再考察をおこなうことである．同時に，筆者ら大学生のような若い世代にとっての，男女共同参画社会の「推進」への参画のしかたや可能性を模索している．

第 1 章では，研究の背景について述べている．筆者が日常における体験や，大学における学びを通して形成した問題意識を紹介し，若い世代の視点から男女共同参画社会を考察することの可能性と必要性を提示している．加えて，問題の所在と研究の目的，研究方法などを提示している．

第 2 章では，男女共同参画社会という概念についての一般的な事項を整理している．はじめに，男女共同参画社会基本法を参照しながら，国が定めた男女共同参画社会の定義について確認する．つぎに，基本法が制定に至るまでの歴史の概略を，女性運動等の動きに注目しながら確認・整理している．それらをふまえて，本論文に使用する「男女共同参画社会」「推進」「若者」の概念・用語について，その定義・扱い方を定めている．

第 3 章では，先行研究の整理と論点の整理をおこなっている．フェミニズムの過程分析，男女共同参画社会に対する「バックラッシュ」の構造と要因，男女共同参画社会の具体的な「推進」について述べた 3 点の先行研究を参照した．そのなかで，先行研究が言及している現象が現在においてどのようになっているのか，「推進」の現場への調査をおこなう必要性をみいだした．また，「バックラッシュ」の動きが，男女共同参画社会においては重要な課題であることも確認した．

第 4 章では，本研究で実施したインタビュー調査について述べている．男女共同参画社会の「推進」活動を，地域・行政・企業などそれぞれの分野・立場においておこなっている 4 名を対象とした．調査の結果，それぞれの対象者には，「推進」の「担い手」となった契機や「担い手」として成長する過程があった．また，「推進」活動のなかで直面する困難や，それについての対象者の思いなどについても聞かせていただいた．

第 5 章では，前章までで整理・調査してきたことをふまえて，男女共同参画社会の「推進」過程について分析をおこなっている．前半では，人が，とくに若い世代が「推進」の「担い手」になっていく過程に注目した．インタビュー対象者自身の「担い手」としてのあゆみを参照しながら，「担い手」になるまでの 5 つの段階を設定した．そして，「担い手」と成長していくうえで，「関心をもつこと」と「行動への契機を見つけること」が課題であることを指摘した．後半では，男女共同参画社会の「推進」過程上にたちふさがる，「バックラッシュ」とその対応について考察している．なかでも先行研究で言及され

ていた若い世代の意識における「バックラッシュ」は，実際に「推進」の現場で生じて問題となっていることを，インタビュー結果を参照しながら確認した．また，それについてどのように対応していくべきかについても検討している．最後に，男女共同参画社会の「推進」過程の全体的な流れを再度確認し，現在が「推進」の絶好の機会であることを指摘している．

第 6 章では，まとめとして，より多様な生き方に対応していくべきという，筆者が考える今後の男女共同参画社会の「推進」の展望について述べている．最後に，本論において達成した点と，反省点についてまとめて，本論文を締めくくっている．

目次

はじめに・・1
1　研究の背景と目的 ・・3
1.1　研究の背景 ・・3
1.2　問題の所在 ・・4
1.3　研究の目的 ・・4
1.4　研究の方法と本論の構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

2　男女共同参画社会について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
2.1　定義 ・・・6
2.2　歴史 ・・・7
2.3　本論での用語の定義・扱い方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

3　先行研究と論点の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
3.1　先行研究・・10
3.2　論点の整理・・・13

4　インタビュー調査・・・15
4.1　調査の目的・・・15
4.2　調査の方法・・・15
4.3　インタビュー結果・・17

5　分析・・27
5.1　「推進」の「担い手」になるまでの過程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
5.2　バックラッシュへの対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
5.3　男女共同参画社会の「推進」過程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42

6　まとめ ・・45
6.1　これからの男女共同参画社会「推進」のあり方について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・45

6.2　本論において達成したこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
6.3　本論における限界・課題 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46

おわりに・・47

参考文献・・48